

大系線利用促進輸送強化期成同盟会
第7回振興部会 会議録（要旨）

日 時	令和6年11月15日（金） 午前10時30分から（終了：12時10分）
場 所	大町市役所 東庁舎2階 東大会議室（オンライン併用）
出 席 者	部会員 15名／28名、 JR西日本金沢支社 2名（オブザーバー）、 事務局
会 議 内 容 〔資料〕	▶ 次第／委員名簿 ▶ 協議事項 （1）令和6年度「大系線の利用促進・利便性向上策」の取組状況等について ・各団体の取組（年間スケジュール／目標値） ---- 〔資料1〕 ・大系線プロモーション事業（同盟会事業） ----- 〔資料2〕 ・大系線バス増便事業（活性化協議会事業） ----- 〔資料3・資料4〕 ・JR西金沢支社の取組 ----- 〔資料5〕

■部会長あいさつ（糸魚川市 内山部会長）

第6回振興部会では、北陸新幹線敦賀開業を契機とした沿線一体での本格的な利用促進・利便性向上策について、事業スケジュール・目標値・事業内容等を議論いただいた。

本日は、その目標値の達成状況等の共有や、ウィンターシーズンを迎える今後の取組について議論をいただく予定。北陸新幹線敦賀開業のチャンスを逃すことなく、大系線の利用促進、沿線地域への観光誘客につなげられるよう前向きな議論にしたい。

■協議事項（進行：内山部会長）

（1）令和6年度「利用促進・利便性向上策」の取組状況等について

○各団体等の取組（年間スケジュール／目標値）〔説明：事務局（大町市）〕 … 〔資料1〕

- ・年間の乗車目標値 60,000 人に対し、9 月末時点で約 19,000 人。目標達成率は 31.5%。
- ・途中経過の事業や 10 月以降に予定する事業もあるため、最終 50%程度見込めるのではと思う。
- ・目標には届いていないが、昨年度実績 10,000 人は既に超え、ある程度の効果は出ている。
- ・引き続き目標値に近づけるよう事業に取り組んでいただきたい。

部会長：目標設定自体、厳しい設定をしたという認識はあるが、6月からのスタートであり、4か月経過の中で既に昨年度の倍近くとなっている。

○各団体の取組状況報告

糸魚川市：大系線活性化協議会の取組について説明。

- ・スタンプラリー、コラボラリーはこれから冬に向けて取り組む。
- ・こども車掌体験やサイクルトレインは例年実施している事業であるが、比較利用が少ない状況。
- ・イベント助成は例年より多くの申請を受けている。9 月末実績ではこの程度だが、紅葉が遅かったこともあり 10～11 月にかけては 1 団体 91 名というような大型の申し込みもあった。
- ・増便バスは、毎月の平日・土日を含めた 4 日間について乗降調査を行い、4 日間の平均乗降客数に日数を掛けた人数（7,357 人）を表に記載している。目標 30,000 人のため厳しい数値ではあるが、ウィンターシーズンに向け何とか利用を伸ばしたい。

小谷村：まず、小谷村観光連盟の事業について説明。

- ・梅池の特別チケット販売は例年行っており、糸魚川市・大町市方面の住民に向け販売。
- ・ツアーについて、塩の道を活用したツアーは村内のホテル等でも実施しているため、視点を変えて砂防ダムを活用したツアーを実施した。
- ・ノベルティプレゼント（臨時列車歓迎大系線乗車記念）は、7 月 14 日に JR の 185 系、8 月 11 日にリゾートビューふるさとの乗り入れがあり、150 枚ずつ絵ハガキを配布。

・塩の道のシャトルバスは、塩の道祭り開催に併せ、駅を利用した方を祭りの出発地点まで送迎。
続けて、大糸線振興会議の事業について説明。

- ・食事代の補助は、活性化協議会の助成を受ける方を対象に食事代を補助。
- ・中土駅発着のスタンプラリーは、アナログでスタンプを置き実施。報告時点で人数がまとまっていなかったが、全てのスタンプを回った方が7名あった。
- ・教育委員会の活動に併せたＪＲ利用者は、先生を含め62名。
- ・人気スマホゲームの「駅メモ」は、現時点で1,542名。この冬に向けては増便バスの利用に寄与できるものと期待している。例年、小谷村ではナイトシャトルバスを出して白馬村まで運行しているが、増便バスの時刻に合わせ運行する予定としている。

北ア振興局：北アルプス地域滞在型周遊デジタルスタンプラリーを7月19日から11月30日まで実施する。グリーンシーズンの観光誘客、観光周遊を目的としてＪＲ東にも協力いただき、列車の中や駅構内にスタンプ取得箇所を設置したほか、管内の観光施設や飲食店にも協力いただいた。アプリから参加登録をいただいた方が1,284名、列車内・駅構内でスタンプ取得した方が404名である。

松川村：米蔵日本酒祭りは、信濃松川駅を利用いただき近くの酒蔵で飲んでいただくイベント。日本酒を輸出しているラオス大使館の皆さんが来賓で来ていただき、非常に盛り上げていただいた。松川村に新しく田舎酒造という酒屋が11月に操業し、日本で一番新しい酒蔵を売りにしている。こうした新しい話題もあり駅近くの米蔵を活用したイベントとして、大糸線も活用し松川村の農産物や酒も知っていただき良かったと思う。

駅からハイキングについては、すぐに申し込みが一杯になる事業であるが、特に特徴もなく村内ののどかな川沿いを歩いてもらうイベント。こうした事業が定着し人気があるため、駅の活用も含めて継続していきたい。

池田町：町営バスを独自に運行し、隣接する安曇追分駅、信濃松川駅と接続し利用促進に取り組んでいる。利用者は主に高校生。

安曇野市：ＪＲ東日本と穂高商業高校の生徒に協力いただき、11月2日、3日に開催したイベント「信州安曇野 食の感謝祭」に3者連盟でブースを出展した。来年度、安曇野市内の駅が開業110周年を迎えるためプレイベントとして高校生等の地域の公共交通を活性化したいというようなグループの方々に集まいただき、高校生発案のスタンプラリーや子ども向けの電車のペーパークラフト、フォトフレームを作り車掌の帽子を被って写真を撮るなどのイベントを実施した。当初目標人数は200名程度を考えていたが、1日目はどしゃ降りでも0名だったものの2日目に多くの方が来られ、実績としては300名がブースにお越しいただいた。ヒアリングではそのうち20名が大糸線を利用。

部会長：目標値と乖離している取組もあるが途中経過であり、今後の取組も含めさらに利用していただくよう取組を進めていければと考える。

○大糸線プロモーション事業（期成同盟会事業）〔説明：事務局（大町市）〕 … 資料2

①大糸線特設サイト

②謎解きラリーイベント

- ・目標設定が過大だったともいえるが、目標設定にあたり、ＪＲ西・ＪＲ東のいずれのエリアでも謎解きイベントの開催実績がある委託業者及び県観光部曰く、謎解きイベントにはそれだけの魅力があるとして設定した数値であり、やはりやり方に課題があったと考える。

③着地型旅行商品

④ＰＲ施策

部会長：取組状況の共有・確認をいただいた。目標設定に関しては厳しい状況ではあるが、ウィンターシーズンに向けインバウンド中心になると思うが、どう誘客し列車に乗っていただくかといった取組が中心になるかと思う。少しでも目標に近づくよう取組を進めていきたい。

《質疑・意見等》

松本市：謎解きは結構難しかったが、答えを教えてもらうことはできないのか。

もう一点、本日の新聞で大糸線カレンダーの無料配布について記事が掲載されていたが、有料にできない理由があれば教えてほしい。

事務局：謎解きに関しては、答えが分からないとの問い合わせを数件いただいたため、委託業者に確認をしたところ、謎解きの構成や、次の問題、別の謎解き等に使いにくくなることもあるため、基本的には教えられないと。少し考え方を考えることで簡単に解けるとの回答であった。

カレンダーの有料化については、JRへの許可手続き等が必要であるほか、同盟会としては収入ということではなく、あくまでも大糸線のPRを目的としているため、有料化は考えていない。

新潟県：来年度事業の中身は、今後、詰めていくものと思うが、今年度取組の実績をよく分析し、結果を踏まえ来年度の取組をブラッシュアップしていただきたい。

大糸線特設サイトは、フェイスブックやインスタグラムなどSNSからの流入が多く、非常に良い結果。滞在時間も1分30秒と見ていただいている。内容を充実させていけば滞在期間の延長に繋がっていく。気になるのは着地型商品についても情報を載せているが、販売実績に繋がっていないため、PRが足りないのか、そもそも内容がどうか、ニーズのミスマッチが課題とも考えられる。

部会長：現在のサイトは日本語しか対応しておらず、旅行商品についても外国人が増える中で充実できていない。少しでも見ていただいて選んでいただけるような内容の充実について、観光関係団体、観光協会の皆さん等、ぜひ沿線の皆さんから協力をいただき充実を図っていききたい。

本日、長野県と活性化協議会の担当者で大阪へエージェンツ回りに行っている。こうした地道なPRも行っていることをご承知おきいただきたい。

○大糸線バス増便事業

▶ 大糸線およびJR大糸線バス振返り〔説明：JR西金沢支社〕 … 資料3

6月から開始している増便バスを含め、昨今の糸線状況やアンケート等で浮き彫りになったお客様のニーズ等について共有させていただければと思う。

- ・今年度の取組という観点から申すと、繰返しとなり恐縮だが、持続可能な路線としての方策を一定期間内に取りまとめる過程の取組を今まさに実施しているという認識。引き続き敦賀延伸を最大の契機とした本格的な利用促進策・利便性向上策、そして地域の活性化に繋がる施策を地域の皆様とともに全力で取り組みたいと考えている。
- ・列車とバスを足し合わせた輸送密度は、2023年度と比較し推計値で1.3倍程度伸びている。(議会等で説明が必要であればJRから聞いた数字として話していただいても結構。あまり根拠がないためそこはご理解いただきたい。)
- ・ウィンターシーズンに関する期待値についても皆様から話をいただいているため、検証や振り返りを行いながら、また、この先の目的も整理しながら取り組み、一定期間内の取りまとめに向けて、未来志向で建設的な対話を深めていきたい。

《質疑・意見等》

部会長：夏場の利用など大分効果があったのでは。コロナから開けてきた影響もあるが、プロモーションの効果、増便バスの接続による利便性の向上が寄与していると思う。本格的なウィンターシーズンに向け、バスを活用していただく形でどう取り組んでいくか。

小谷村観光連盟：(資料15P) 新潟県・長野県在住者のnが679人あり、その前(11P)の説明で観光利用が92%ある中、観光利用以外の数より多いが、糸魚川総合病院の利用が多いということはどう解釈すれば良いか。

JR西：(n=679)の数字は、資料7Pの質問で新潟県・長野県在住の方が約3割おり、この方々の回答を15Pに記載している。どのような目的で使っているかというと、11Pで示したとおり生活利用ではない利用の方が実は相当数いる。増便バスに乗ることを目的としてお越しになった方もいれば、何らかのイベントでお越しいただいた方もいる。小谷村の駅メモはまさにそのような利用だと思うが、そういった方々もアンケートの対象としている。この方たちには選択肢を示したところ、病院とか市役所を選択した結果である。

大糸線をより良くしていくために提言的な思いがあったかもしれないですし、今はイベント利用だけこういう場所に停まることにより生活利用に繋がるということを考えて選んだ可能性もあると思

う。地域に住んでいる方からすると、そういった観点がより強く出たのではと感じる。一方で新潟県・長野県以外の在住者からすると、完全に観光路線としての大糸線に期待してお越しになっているため、より白馬リゾートの方を選択する傾向にあると分析している。

長野県：来年度に向け予算措置していくためには、このように示していただいてありがたい思い。このバス事業やプロモーション事業の取組は、従来の取組に加えて別に行っている事業。我々としてはアクセルを踏み込んで地域の皆さんと一緒に取り組んでいるが、やはり危機感を持って来年に向けてしっかりと力を合わせ取り組まなければならないと感じる。

部会長：増えたからと満足することなく、継続して取り組み、より利用を増やしていきたい。

▶ 冬期（12月～3月）のルート変更について〔説明：糸魚川市〕 … 資料4

降雪等により冬場に今のダイヤを維持することは非常に難しいことや、信濃森上など雪がある状態で大型バスが入ることが困難であること、また、白馬駅のロータリーはスキー場のシャトルバス等で混雑し駅構内へ入れない状況がある。（白馬駅停留所は、変更後八方バスターミナルを予定。）

このような状況を加味し冬期のルート変更について、活性化協議会で協議を進めてきた。

《質疑・意見等》

小谷村：冬期はインバウンドの利用が多いことが想定される。小谷・白馬・大町の広域DMOとして組織する白馬バレーでは、白馬バレーバスを運行しており、八方バスターミナルをハブとして大町方面、白馬・小谷方面の2便が運行しているため、八方バスターミナルから色々な接続ができると考えている。

今年度バスの運行時間を15分間隔に縮めて運行できるよう調整しているが、少しでも利用促進に繋がれば良いと思う。

部会長：八方バスターミナルに変更し、15分間隔で各スキー場へアクセス可能となり、五竜方面、榑池方面にもバスが運行され、お客様のニーズにも応えられると思う。

もう一点、冬場の増便バスの利用促進に関して、糸魚川市と活性化協議会の取組について資料を付けさせていただいた。冬場の夕食難民に対して、ぜひ増便バスを使っていただけるよう英語表記のフライヤーを作成した。外国人オーナーの方などにも周知を図っていききたい。少し早い時間に白馬を出発し、糸魚川で1体験していただいてから食事をして帰っていただくことも意識し、体験メニューとして相撲体験も入れている。こういった内容で外国人の利用が増えればと考えている。

○ J R 西日本金沢支社の取組〔説明：J R 西金沢支社〕 … 資料5

・2ページ(旅行商品の造成) 上期の実績はあまり良くないと聞いているが、下期に旅行会社へ働きかけるきっかけになったと思う。

《質疑・意見等》

部会長：1点、要望したい。t a b i w aは電子決済もでき、外国人にも使っていただけると考えているが、英語表記がない。サイト自体が英語表記に変換できれば良いが対応していないとのことであるため、使い方のPDFについては外国対応ができるよう検討していただきたい。J Rとしてもインバウンドを意識し対応いただければと思う。

■閉会